

東京芸術劇場 障害とパフォーマンス・アーツ シンポジウム

## 『多様で豊かな舞台芸術の創造をめざして』

障害のある人々との身体表現活動を継続的に行うグループは、どんな思いから、何を目指し、どんな活動を展開してきたのでしょうか。どのようにして舞台芸術作品を創造してきたのでしょうか。そして、その成果は？浮かび上がる課題は？——誰もが、地域で身近に、思い思いの身体表現活動に親しむことのできる環境の整備をめざして、先駆的なグループの経験から学びを得つつ、一緒に考えてみませんか。

**日 時：** 2019年3月6日(水) 15:00~18:00  
**会 場：** 東京芸術劇場 シンフォニースペース (5階)  
**料 金：** 500円 (税込)  
**定 員：** 70名 先着順 (要事前申込)  
※手話通訳付き

### 第1部 「活動の軌跡と展望」

みんなのダンスフィールド 西 洋子 代表 ディレクター  
じゆう劇場 中島 諒人 芸術監督、演出家  
ストップギャップ ダンスカンパニー 柴田 翔平 エクゼクティブ・プロデューサー

### 第2部 「身体表現活動の積み重ねから舞台芸術作品の創造へ」

～性質の異なる3つの団体の活動を比較し合いつつ、3人で鼎談します～

**お申込みはEメールで [seminar@geigeki.jp](mailto:seminar@geigeki.jp) まで**

件名を「3月6日シンポジウム参加希望」として、以下を明記の上、お申込みください。

①氏名(ふりがな) ②ご所属(もしあれば) ③メールアドレス ④当日連絡用電話番号

※こちらからの返信をもってご予約完了となります。  
※手話通訳ご希望の場合は、2月25日までにお申込みください。  
※お申込み時にいただく個人情報は、本事業以外の目的には使用しません。  
※受信制限をされている方は、当アドレスからのメールを受信できるよう設定をお願いします。

【お問合せ】 東京芸術劇場 事業企画課 教育普及担当 03-5391-2116 <http://www.geigeki.jp>

主催 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

協力 社会福祉法人愛成会 (厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業ブロック支援組織)

世田谷パブリックシアター

東京芸術劇場  
Tokyo Metropolitan Theatre

TokyoTokyo  
FESTIVAL

## みんなのダンスフィールド

1998年から活動を開始したNPO法人。年齢や性別、障害の有無や経験の差異を超えて、新たな表現を模索するグループで、メンバー40名のうち1/3は車いすユーザー等。都内で15回のパフォーマンス（IMAホール、アサヒ・アートスクエア、練馬文化センター大ホール等）と海外公演（韓国、イタリア）に加え、都内の小・中学校や特別支援学校、福祉施設、病院等でのワークショップを積極的に展開。



## 西 洋子（にし ひろこ）

NPO法人みんなのダンスフィールド理事長 東洋英和女学院大学教授

お茶の水女子大学・同大学院で舞踊学、舞踊教育学とモダンダンス、コンテンポラリーダンスを学んだ後、子どもの創造的な身体表現、精神科入院病棟での身体表現、コミュニティでのインクルーシブダンス等、肢体不自由・精神・発達・視覚・聴覚障害等の人々を含む多様な人々との共創表現の研究と実践を継続。博士(学術)。

## じゆう劇場

鳥の劇場のプロデュースのもと、2013年8月に活動を開始したプロジェクト。障がいのある人、ない人がいっしょに舞台を作り、日常生活では隠れがちなそれぞれの豊かさを発見し、観客と分かち合うことを目指す。障害のある人の自己決定を大切にしながら、創作を進める。毎年参加者を公募し、継続的な参加者と新規の加入者が混じりながら創作をする。2019年2月に『「ロミオとジュリエット」から生まれたもの 2018』で初めての東京公演を行った。



## 中島 諒人（なかしま まこと）

演出家 鳥の劇場芸術監督

1966年生まれ。90年東京大学法学部卒業。東京での劇団主宰、静岡県舞台芸術センターを経て、2006年鳥取で「鳥の劇場」をスタート。芸術的価値の追求と普及活動を両輪に、地域振興や教育分野にも関わる。2003年利賀演出家コンクール最優秀演出家賞。07年鳥取市文化賞。10年芸術選奨文部科学大臣新人賞。15年鳥取県文化功労賞。BeSeTo演劇祭日本委員会代表。

## ストップギャップ ダンスカンパニー

イングランドを拠点に、障害の有無を越え、参加するアーティストが一丸となって新しい舞台の創造に取り組むダンスカンパニー。芸術監督のルーシー・ベネットを中心に、多彩なクリエイティブスタッフとダンサーによって数々の名作が生まれている。アーティスト育成やアウトリーチ事業など、誰もがダンスを楽しめる環境づくりや、人々の既成概念を取り除くことに努めてきたパイオニア精神は、社会教育の現場でも高い評価を得ている。



Chris Parkes

## 柴田 翔平（しばた しょうへい）

ストップギャップ ダンスカンパニー エクゼクティブ・プロデューサー

幼少よりTVや映画、舞台などに出演。1995年より渡英。2005年ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス卒業後、アーツカウンシル・イングランド勤務。08年よりストップギャップ ダンスカンパニーに参加し、アウトリーチ事業、ダンスプロジェクトなどに携わる。09年にスタートさせた屋外プロジェクトがロンドン・オリンピック・パラリンピックの文化プログラムへと発展、大成功を収めた。

### ストップギャップ ダンスカンパニー 日本ツアー、ワークショップ

#### ▼公演『エノーマスルーム』

3月3日（日） 神奈川県立地球市民かながわプラザ（あーすびらざ）2階プラザホール

3月8日（金）、9日（土） 世田谷パブリックシアター

3月16日（土） 北九州芸術劇場小ホール

#### ▼インクルーシヴダンス ワークショップ

3月11日（月） あうるすぽっと

\*他、神奈川、北九州にて開催。